

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区備後町2-4-6 TEL:06-6209-7678

編集発行人: 税理士 三輪 厚二 FAX:06-6209-8145

◇ 令和5年 源泉所得税等の課税事績の概要

Q : 令和5年の源泉所得税の課税事績の概要が公表されたそうですが、どのような内容でしたか？

A : 次のような内容でした。

【解説】

先ごろ、国税庁から「令和5事務年度における源泉所得税等の課税事績の概要」が公表されました。

主な内容は、次のとおりです。

① 源泉所得税等の税額

令和5事務年度における源泉所得税等の税額は21兆3,351億円で、前事務年度(21兆8,159億円)に比べ4,807億円(2.2%)の減少でした。

源泉所得税等の内訳は、給与所得が最も多く13兆2億円(前年は12兆5,264億円)、次いで配当所得が4兆5,062億円(同6兆827億円)、報酬料金等所得が1兆2,452億円(同1兆2,277億円)、非居住者等所得が1兆74億円(同8,828億円)、特定口座内株式の譲渡所得等が8,266億円(同4,844億円)、利子所得等が4,406億円(同3,360億円)、退職所得が3,088億円(同2,760億円)でした。配当所得に係る源泉所得税が大きく減少(74.1%)しています。

② 源泉徴収義務者数の状況

源泉徴収義務者数は、給与所得に係る義務者数が最も多く356.8万件(同356.9万件)、次いで報酬料金等が287.1万件(同287.5万件)、配当所得が14.9万件(同14.9万件)、非居住者等所得が3.8万件(同3.5万件)、利子所得等が3.2万件(同3.3万件)、特定口座内譲渡所得等が1.1万件(同1.1万件)でした。

